



上市町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、二酸化炭素等の温室効果ガスによる地球の温暖化が原因とされる気候変動の影響により、世界各国で甚大な自然災害が頻発しています。国内においても、毎年のように大型で強い台風や豪雨災害により甚大な被害が多発しているほか、夏季には酷暑が連日続くなど、かつて経験したことの無い異常気象に見舞われており、本町においても住民生活に大きな影響が及んでいます。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、可能な限り1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有され、その後2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇2℃より低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにすることが必要」とされており、2020年10月には、政府が「カーボンニュートラル」を宣言し、国内の脱炭素社会実現に向けて政策を強力に推進する方針が掲げられ、社会全体としてこの目標を達成するための取り組みが求められています。

名峰 劔岳をはじめとした雄大で豊かな自然を有する本町においても、地球温暖化が原因とされる気候変動は深刻な脅威であり、このかけがえのないふるさとを守り次世代に継承していくためにも、住民一人ひとりが「すべては私とミライのために」地球温暖化の問題を喫緊の課題として捉え、対策に取り組んでいくことが必要となります。

本町は、「みんなが主役のまち 上市」として住民・事業者・行政が一体となって第2次上市町環境基本計画で掲げる環境像「劔のもと 水を慈しみ 安心して暮らせるまち かみいち」の実現と地球温暖化対策に取り組むことで持続可能な社会を実現し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和4年12月16日

上市町長

中川 行孝